

国保みやざき

vol.8



中之又神楽（木城町）

CONTENTS

01 クローズアップ

- 国保制度の安定化を求めて 11 項目を決議
令和 4 年度国保制度改善強化全国大会

02 NEWS & TOPICS

- 国保運営協議会委員等に向けた研修会を実施
宮崎県市町村国民健康保険運営協議会 委員研修会
- 審査の充実に向けた取組を実施
審査事務共助知識力認定試験を実施
- 長年の尽力に感謝
令和 4 年度国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰伝達式

03 情報ひろば

- 04 国保連行事予定（令和 4 年 12 月～令和 5 年 2 月）



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

国保制度の安定化を求めて 11 項目を決議

●令和 4 年度国保制度改善強化全国大会

11月18日（金）、国保中央会、全国の国保連合会など国保関連9団体主催の国保制度改善強化全国大会が砂防会館（東京都）で開催されました。

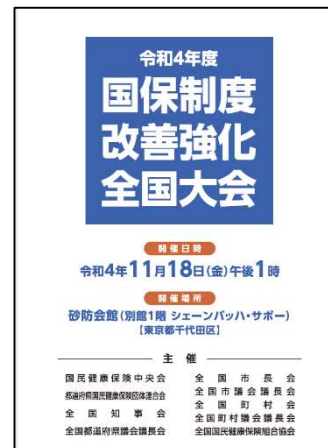
本大会は、国保が地域保険としての機能を十分に発揮できるよう、制度の改善強化を図ることなどを目的に毎年開催しており、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催されました。

議事では、国保財政の基盤強化に向けた財政支援の充実をはじめとして、国保総合システムの令和 6 年度更改及び運用の財政措置を求めるなど、11 項目の決議を採択しました。

（下記参照）

また、本県では地元選出国會議員 8 名に対し、木佐貫 辰生 副理事長（三股町長）および本会の佐野 詔藏 常務理事が大会で採択された決議に基づく要望事項についての陳情活動を展開しました。

面会できた議員（松下 新平 参議院議員、渡辺 創 衆議院議員）へは直接、陳情書を手渡しました。



決 議

記

本日ここに、全国の国民健康保険関係者が一堂に会し、国民健康保険が直面する諸問題の改善を期して、国保制度改善強化全国大会を開催し、慎重審議した結果、次のとおり決議一致これを採択した。

国は、国民健康保険制度の現状を踏まえ、次の事項を必ず実現されるよう本大会の総意をもって強く要望する。

- 一、医療保険制度の一本化を早期に実現すること。
- 一、国保の財政基盤強化のための公費投入の確保を確実に実施するとともに、保険者努力支援制度等が有効に活用されるよう、適切な評価と財政支援の充実を図ること。
- 一、普通調整交付金が担う自治体間における所得調整機能は、今後も堅持し、見直しを行わないこと。
- 一、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、国保制度の運営の安定を図るとともに、医療・保健・介護の人材及び公立病院等の医療提供体制を確保するため、地方自治体及び国保連合会に対して十分な支援措置を講じること。
- 一、子どもの医療費助成等の地方単独事業に係る国庫負担減額調整措置の全廃及び子どもに係る均等割保険料（税）の軽減制度の拡充を行うこと。
- 一、生活保護受給者の国保等への加入の議論については、見直しを行わず国としての責任を果たすこと。
- 一、国保総合システムは、医療分野におけるDX推進の柱であり、次期更改や運用に当たっては、市町村等保険者に追加的な財政負担が生じないよう、国の責任において必要な財政措置を確実に講じること。
- 一、国保連合会が地方自治体の医療・保健・介護・福祉業務支援の役割を十分に果たせるよう、必要な措置を講じること。
- 一、国民の健康維持・増進及び医療費適正化に向けKDBシステムの更なる活用を進めるため、制度的役割の拡充を図るとともにシステム更改等に係る財政措置を講じること。
- 一、オンライン資格確認等システムの普及やデータヘルス改革の推進に当たっては、国の責任において財政支援の充実をはじめ必要な措置を講じること。
- 一、国民健康保険組合の健全な運営を確保すること。

右 決議する。

令和四年十一月十八日

国保制度改善強化全国大会

● 地元選出国会議員への陳情活動



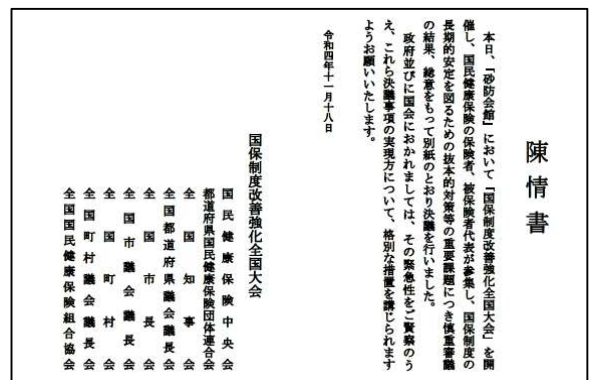
左から松下参議院議員、木佐貴副理事長



左から渡辺衆議院議員、木佐貴副理事長



陳情活動の様子



● 国保制度改善強化全国大会



全国大会の様子



岡崎国保中央会会長（高知市長）の挨拶

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
 TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
 E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

クローズアップ

国保運営協議会委員等に向けた研修会を実施

●宮崎県市町村国民健康保険運営協議会 委員研修会

11月8日（火）、宮崎県市町村国民健康保険運営協議会委員研修会を市町村国保運営協議会委員および市町村職員 159 人の出席のもと、Web 会議形式で開催しました。

本研修会は、県内市町村の国民健康保険運営協議会委員が一堂に会し、国民健康保険事業における運営上の諸問題について、相互理解と認識を深め、事業の円滑な運営に資することを目的としており、国民健康保険中央会保健事業専門幹の三好ゆかり氏を講師に迎え、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について～令和 6 年度に向けた予防・健康づくりの動きを踏まえて～」と題し、一体的実施の実施状況や今後の動きなど、他県市町村の事例を交えて紹介されました。

講演後の質疑応答では、市町村国保運営協議会委員より質問が挙がるなど、有意義な研修会となりました。

本会としても、国保保険者の共同体として、市町村における国保の安定運営の支援を積極的に取り組んでまいります。



講師：国民健康保険中央会保健事業専門幹 三好 ゆかり 氏



お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

審査の充実に向けた取組を実施

●審査事務共助知識力認定試験を実施

11月8日(火)、本会にて令和4年度事務共助知識力認定試験を実施しました。

本試験は、質の高い優秀な審査事務共助担当職員を確保することを目的に、審査充実に向けた取組の一つとして、全国の国保連合会職員を対象に、国民健康保険中央会が主体となって年1回実施しています。

試験の内容は、点数表の告示・通知や保険診療に係る一般常識等となっており、審査事務に携わる職員及び嘱託員計33名が受験しました。

今後も、診療報酬の適正化に資するため、審査事務共助の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努めてまいります。



認定試験の様子



お問い合わせ先 総務企画課 総務財政係
 TEL 0985-25-5059 / FAX 0985-83-3359
 E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

長年の尽力に感謝

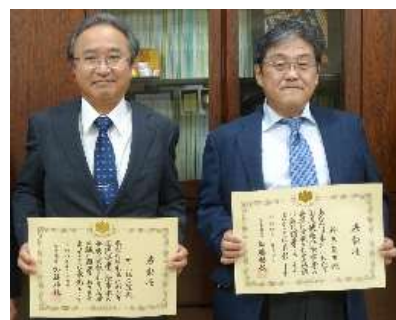
●令和4年度国民健康保険関係功績者 厚生労働大臣表彰伝達式

本表彰は、多年にわたり国民健康保険の事業の発展に貢献された方に、厚生労働大臣から表彰されるものです。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、厚生労働省での表彰式が中止となったため、宮崎県による表彰伝達式を11月22日(火)に、本会で行いました。

本年度の被表彰者は下記の方々です。

氏名	役職名	委員年数
阿久根 広宣	宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員	13年
鈴木 斎王	宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員	14年



左から阿久根審査委員、鈴木審査委員



長年のご尽力に感謝申し上げます。

お問い合わせ先 審査第1課 審査管理係
 TEL 0985-25-5504 / FAX 0985-25-5642
 E-mail: sskanri@kokuhoren-miyazaki.or.jp

こくほ随想 国際社会保障協会（ISSA）総会

日本年金機構 副理事長（元厚生労働事務次官）

樽見 英樹

10月の24日から28日まで、モロッコのマラケシュで国際社会保障協会（ISSA）の総会が開かれた。その一部ではあったが、筆者もこれに出席する機会に恵まれたので、今回はそこで思ったことをご報告したい。

この会まで6年間ISSA会長を務めたドイツのプロイアー氏が挨拶で述べていたコメントが印象的だった。「十数年前には、社会保障で一週間も国際会議？と言われたものだが、今や各国の大臣レベルの出席も得て社会保障の役割を論じ合うのが何の不思議もないことになった」

その背景の一つが新型コロナのパンデミックだったというのも、日本国内だけでいると見落としがちなことだと思う。確かに、医療保障、雇用保障、所得保障の在り方が政権の在り方そのものを左右するインパクトを持つということを改めて経験したのが、今回のパンデミックだったのだ。我が国でも雇用調整助成金の枠組みが実は事業者に対する助成の最大のチャンネルであったということはもっと注目されてよいと思うし、厚生年金や国民年金の保険料の特例は、政府の機能というものを負担と給付のバランスの中でどう位置付けるかということの一つのレッスンだった。

それとともに、女性の活躍を支援しつつ出生率の低下にどう歯止めをかけるかに各国とも努力しているということも、今更ながら勉強になった。我が国と対策のメニューはそう変わらない。男性の育児休業を進めていますなんて、どこかで聞きましたね

という感じだが、そして成果もさほど違わないとも言えるものだが、何と云うか、議論のスピードと徹底度の感じが違うのだ。これは社会保障の関係者が参加する会議だからなのかどうか。我が国がプレゼンするとしたらどうしただろうかと思う。

同時に、この出生率や女性の活躍の問題を含めて、社会保障における横の連携ということ、つまり、雇用保障、高齢者介護、障害者の所得保障、医療保障などの各制度について、相互の効果と限界を見極めつつ、全体として機能する仕組みをどうつくるかという視点が、複数の議論の中で出てきたのもまさにその通りと言いたくなった。各国ともそれぞれ特色のある社会保障制度の歴史を重ねながら、同じような課題に直面しているのだ。

実務的な面では、デジタル技術をいかに活用してお客様サービスと能率とを更に向上させるかということが、何と云っても共通する関心事であったように思う。医療でも年金でも、社会保障制度の運営には膨大な情報処理を伴う。同時にその情報は基本的に個人情報であり、秘匿されるべき要請が極めて強い。こうした中で、進歩するデジタル技術の強みをどう活かして、医療の質や、保険業務の正確性、お客様との接点となる各種業務の能率とサービスの向上を図っていくべきか、ということである。

会議に参加している期間中、「我が国ではこういうシステムやアプリを開発しました」という売り込みを受けることも多かった。

率直に言って、単純な制度を持っているところ、個人情報に対する社会的な意識が寛容なところは羨ましいなと思うところはある。けれど、我が国でも、もっと多くの領域で、デジタル技術を駆使したサービス向上や能率向上は図られなければならないし、できるはずである。

この点でもやはり、我が国において、もっとスピード感と徹底度を持った議論が

行われてしかるべきだろうと思わないではいられなかった。私の奉職する日本年金機構でも「オンラインビジネスモデルの構築」を重要課題として取り組んでいるが、医療において取り組める領域はより広いと思う。医療保険の各保険者にとっても、むしろこれを一種のビジネスチャンスととらえて、更に積極的に取り組むことが求められていると言えるのではないだろうか。

(記事提供 社会保険出版社)

【プロフィール】

樽見 英樹

(たるみ ひでき)



生年月日 1959年11月21日

日本年金機構 副理事長

元厚生労働事務次官

【学歴】

1983年3月 東京大学法学部卒業

【職歴】

1983年4月 厚生省入省

1993年5月 在米日本国大使館一等書記官

1998年4月 北海道保健福祉部高齢者保健福祉課長

2004年7月 総務省行政管理局管理官
2008年7月 社会保険庁総務部総務課長
2012年9月 厚生労働省大臣官房人事課長
2013年7月 厚生労働省大臣官房年金管理審議官
2016年6月 厚生労働省大臣官房長
2018年7月 厚生労働省保険局長
2019年7月 厚生労働省医薬・生活衛生局長
2020年3月 内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長
2020年9月 厚生労働事務次官
2021年10月 厚生労働省退官
2022年1月 日本年金機構 副理事長



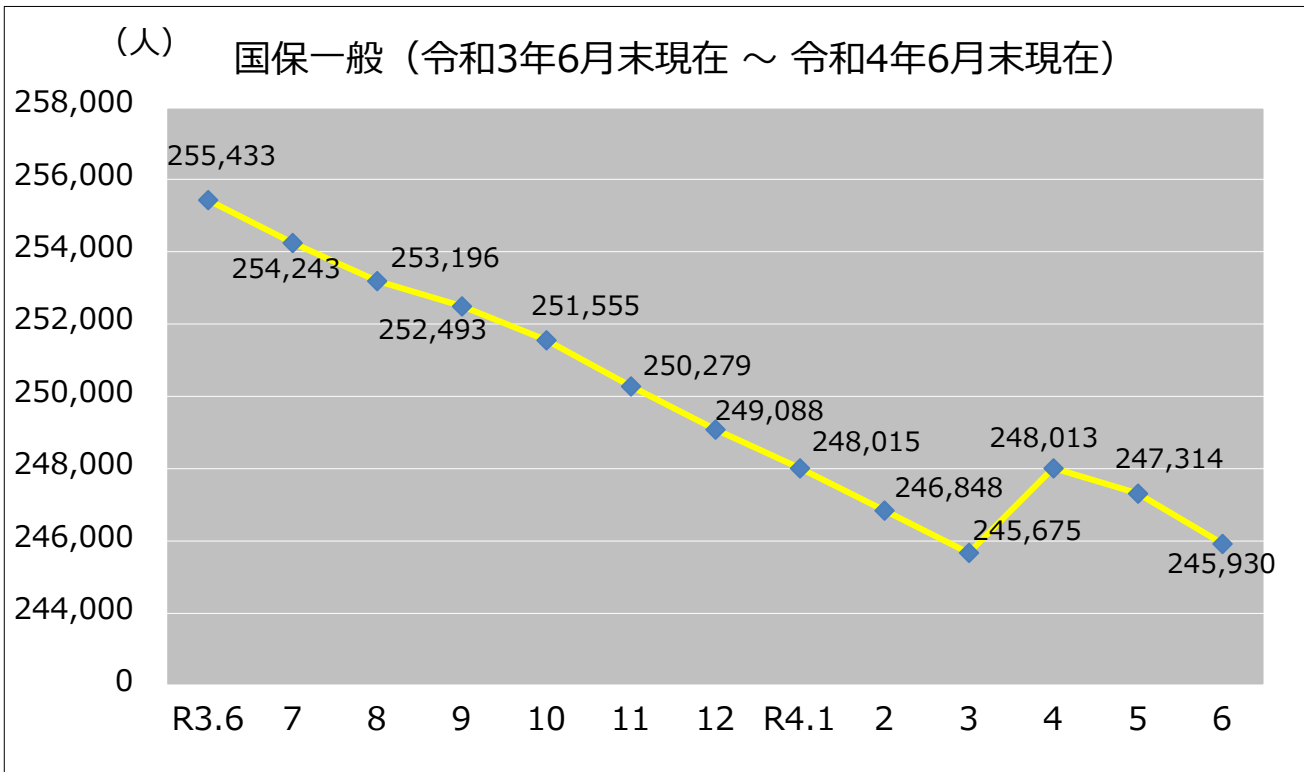
情報ひろば

データコーナー

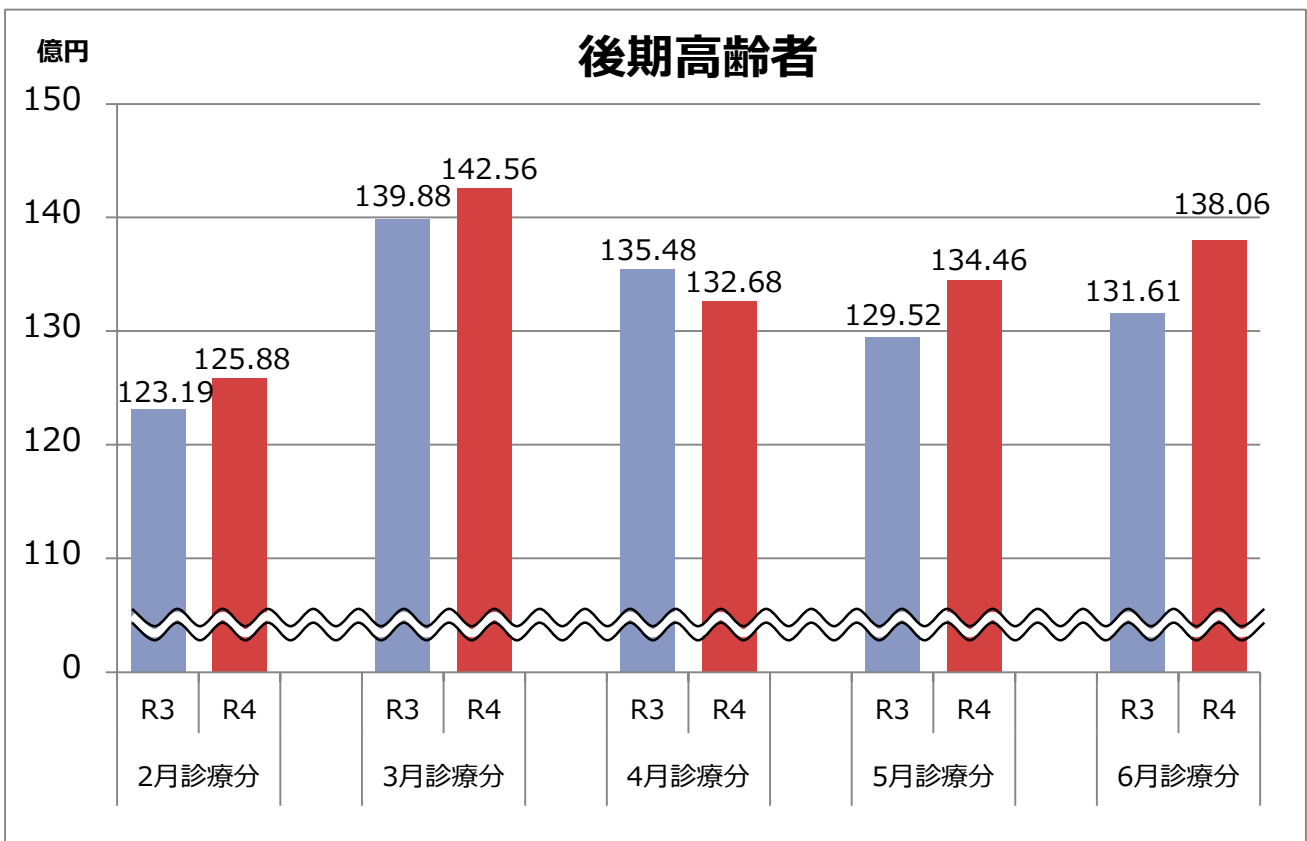
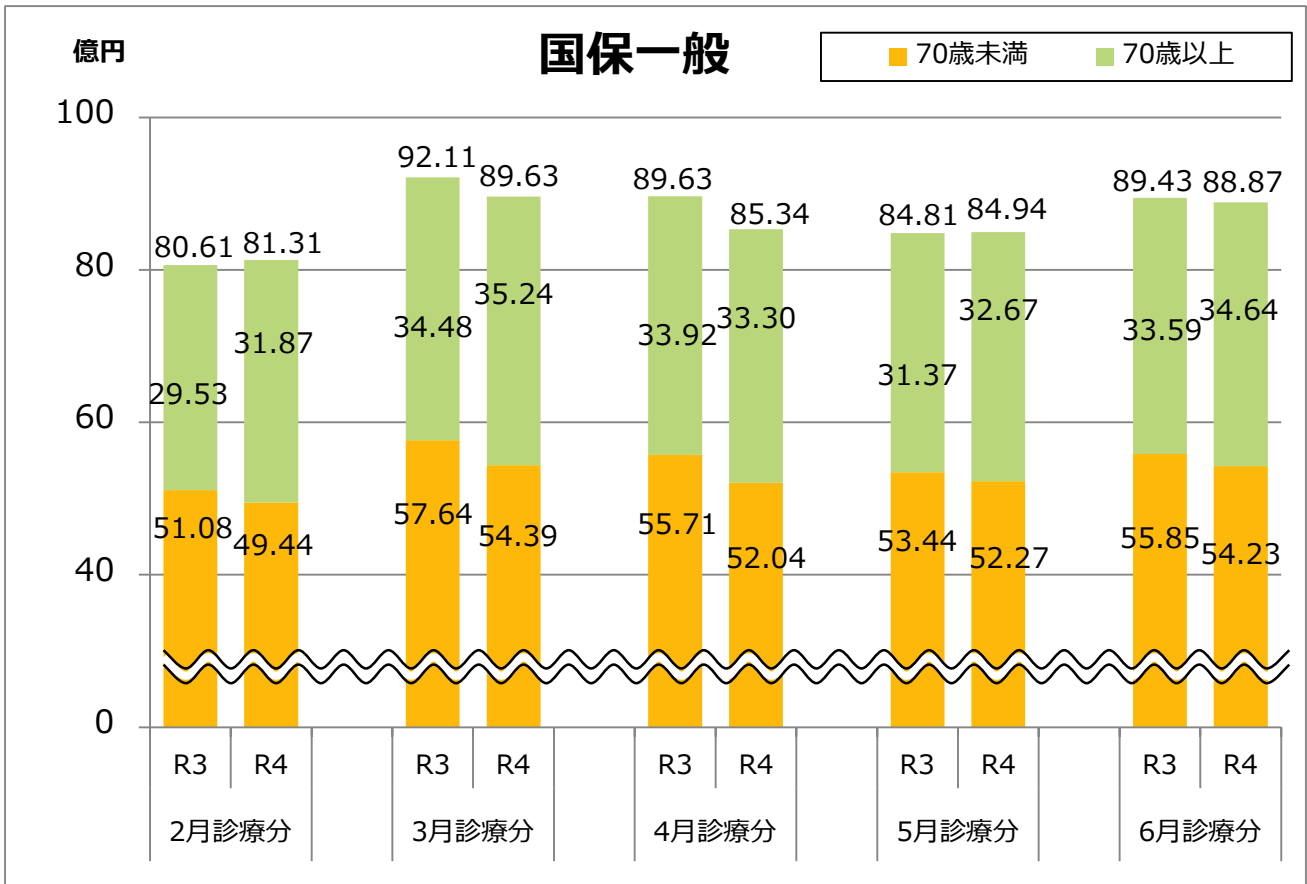
医療費データ

(注) 数値は、市町村月報集計（速報値）および宮崎県後期高齢者医療広域連合からの提供

●被保険者の推移



●月別医療費



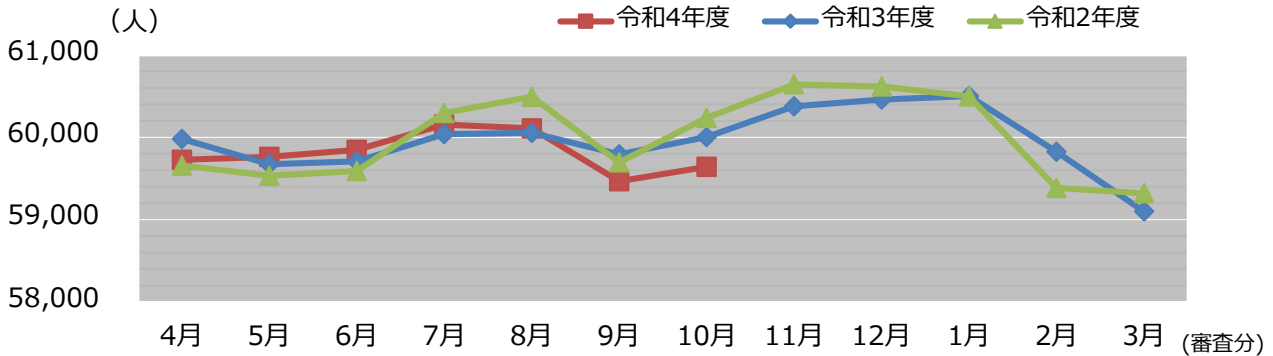
●国保 1人当たりの医療費（令和4年3月～令和4年6月診療分）

市町村	1人当たり医療費（円）				前年度比（%）
	令和3年3月～令和3年6月		令和4年3月～令和4年6月		
		順位		順位	
宮崎市	130,272	21	133,461	20	102.4
都城市	140,953	14	145,777	15	103.4
延岡市	135,649	15	137,882	17	101.6
日南市	167,769	3	166,346	2	99.2
小林市	155,404	8	161,487	5	103.9
日向市	142,391	13	148,740	13	104.5
串間市	158,975	6	152,455	11	95.9
西都市	129,401	23	135,004	18	104.3
えびの市	167,179	5	157,790	6	94.4
三股町	143,499	12	142,071	16	99.0
高原町	157,704	7	154,223	10	97.8
国富町	132,355	18	122,525	26	92.6
綾町	132,447	17	128,728	22	97.2
高鍋町	147,502	11	155,581	8	105.5
新富町	131,737	19	126,441	23	96.0
西米良村	167,428	4	165,854	3	99.1
木城町	132,625	16	134,969	19	101.8
川南町	123,377	24	122,625	25	99.4
都農町	130,463	20	123,766	24	94.9
門川町	148,938	10	155,470	9	104.4
諸塚村	108,739	26	164,910	4	151.7
椎葉村	109,766	25	130,653	21	119.0
高千穂町	154,986	9	146,714	14	94.7
日之影町	184,958	1	179,835	1	97.2
五ヶ瀬町	130,142	22	148,998	12	114.5
美郷町	176,770	2	156,723	7	88.7
市町村平均	139,148		141,353		101.6

お問い合わせ先 情報・介護課 情報管理係
 TEL 0985-25-5289 / FAX 0985-25-6348
 E-mail:jyouhou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

介護保険だより

介護保険受給者数



介護保険データ (令和4年4月審査分～令和4年10月審査分)

保険者名	確定件数状況			介護給付費 (総合事業を含む)			
	R3.4月～R3.10月	R4.4月～R4.10月	前年同月比	R3.4月～R3.10月	R4.4月～R4.10月	前年同月比	
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	順位
宮崎市	307,277	317,627	103.4	19,106,922,907	19,178,092,384	100.4	4
都城市	153,501	150,261	97.9	9,555,855,995	9,185,120,248	96.1	18
延岡市	116,068	116,429	100.3	7,540,720,067	7,323,524,974	97.1	15
日南市	49,888	49,136	98.5	3,547,872,718	3,423,547,916	96.5	16
小林市	41,723	41,193	98.7	3,086,525,033	3,041,273,061	98.5	8
日向市	36,993	36,094	97.6	2,823,882,657	2,768,020,723	98.0	10
串間市	15,556	15,362	98.8	1,325,516,043	1,253,734,584	94.6	24
西都市	25,965	26,140	100.7	2,062,652,955	2,072,441,885	100.5	3
えびの市	21,986	21,681	98.6	1,716,156,741	1,641,840,981	95.7	22
三股町	17,627	18,078	102.6	1,157,368,487	1,108,354,964	95.8	20
高原町	8,525	8,634	101.3	682,982,725	665,974,282	97.5	11
国富町	17,875	17,835	99.8	1,264,684,669	1,212,909,800	95.9	19
綾町	5,730	5,540	96.7	468,928,764	451,609,381	96.3	17
高鍋町	13,113	13,774	105.0	959,994,496	955,126,617	99.5	5
新富町	9,660	9,550	98.9	807,480,986	785,110,247	97.2	13
西米良村	878	845	96.2	91,912,336	89,327,397	97.2	13
木城町	4,231	4,421	104.5	353,473,346	366,930,585	103.8	2
川南町	10,517	10,418	99.1	861,084,468	854,010,403	99.2	6
都農町	7,015	6,923	98.7	550,902,494	544,507,268	98.8	7
門川町	13,723	13,187	96.1	860,746,077	819,031,646	95.2	23
諸塚村	1,536	1,538	100.1	136,862,320	126,284,406	92.3	25
椎葉村	2,657	2,623	98.7	210,837,061	223,164,728	105.8	1
高千穂町	10,019	10,240	102.2	777,830,718	763,937,119	98.2	9
日之影町	3,595	3,218	89.5	376,741,217	345,946,227	91.8	26
五ヶ瀬町	2,762	2,694	97.5	237,468,897	227,548,210	95.8	20
美郷町	6,477	6,162	95.1	526,580,539	512,329,374	97.3	12
市町村計	904,897	909,603	100.5	61,091,984,716	59,939,699,410	98.1	

* 確定件数・給付費は、国保連合会審査支払データによる。

* 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費、
高額介護サービス費および総合事業費の合計。

* 前年度伸び率は、令和3年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 情報・介護課 介護福祉係
TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260
E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

国保連行事予定（令和4年12月～令和5年2月）

●12月

日	曜	行事	場所
10	土	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
15	木	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
17	土	国保審査委員会（～21 日）	国保連 本館 4 階大会議室
19	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
21	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
22	木	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

●1月

日	曜	行事	場所
10	火	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
13	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
20	金	国保審査委員会（～24 日）	国保連 本館 4 階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
24	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
		あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

●2月

日	曜	行事	場所
10	金	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
15	水	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
17	金	国保審査委員会（～21 日）	国保連 本館 4 階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
21	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
		あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
22	水	通常総会・理事会	国保連 本館 4 階大会議室

昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性の皆様へ！ 風しんの追加的対策へのご協力をお願いします

●これから生まれてくる子どもを守るために！

妊娠中の女性が風しんに罹った場合、おなかの中の子どもに下図に示す症状や障害など（先天性風しん症候群）が見られることがあります。



出典 政府広報オンライン HP

皆で風しんを予防することが子どもを守ることに繋がります。
パートナーとのお子さんや地域や職場内での予防のためにご協力をお願いします。



●宮崎県の風しんの追加的対策（抗体検査）実施状況

宮崎県内での実施状況（平成 31 年 4 月～令和 4 年 10 月）	
対象者数※1	112,293 人
抗体検査数※2	28,291 件
抗体検査進捗率	25.2 %

※1 参考：厚生労働省資料より

※2 本会確定件数

健康診断を受ける医療機関や健診機関で、普段の診断項目と一緒に風しん抗体検査を受ける方もいらっしゃいます。
健康診断をこれから受ける方は、ぜひ風しん抗体検査もお考えください。

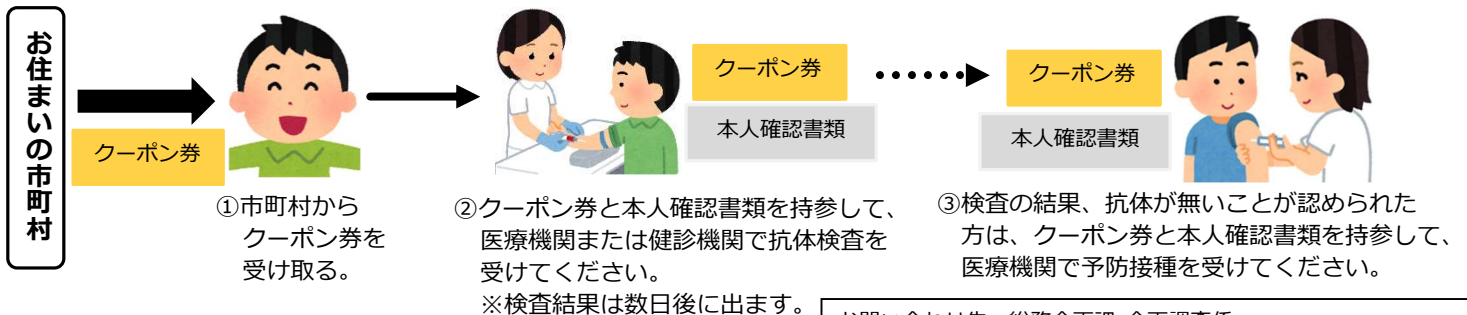


風しんの追加的対策とは

2018 年に風しん患者として届け出された患者のうち男性が約 8 割を占め、中でも 30 代から 50 代の男性に多いことが指摘された。この原因として、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性は、定期接種の機会が 1 度もなく、抗体保有率が低い（免疫が弱い）方が多いことや感染しやすい職場環境に置かれている方が多いなどが考えられる。

そのため、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性に対し、抗体検査、予防接種を実施するもの。

●風しんの追加的対策の受診方法



お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

イベント用機材貸出のご案内

地域の健康づくりや健康寿命延伸に関する啓発、国保の周知等を目的とした健康まつりなどのイベント活動を支援するため、保険者等のみなさまに以下の機材の貸出しを行っております。



イベントでみなさまとお会いできることをお待ちしております。

■ オレンジくん着ぐるみ

■ 体組成計

体重・体脂肪率、体の部位別の脂肪量、筋肉量などの測定を行うことができます。

■ もの忘れ相談プログラム

モニターに表示される簡単な質問をタッチパネルで答えていくことで、アルツハイマー型認知症の疑いをチェックできます。（※付属のプリンターも貸出ししております。）

■ チェッカーくん（足指力測定器）

下肢機能を把握するために足指の力を測定します。



もの忘れ相談プログラム

■ マイクロ CO モニター（呼吸ガス分析装置）

呼気中の一酸化炭素濃度を測定します。



チェッカーくん

■ ライフレコーダーEX（生活習慣記録機）

日常の運動量や生活習慣を把握することができます。

■ 健康パネル

色々な内容の掲示用パネルがありますので、様々なテーマのイベントに対応した健康パネルをご用意することができます。

■ オレンジタイム DVD

■ のぼり

■ はっぴ

■ テーブルクロス

■ ロールアップバナー



のぼり（5種類）



体組成計



マイクロ CO モニター

ご案内用ウェブページURL

<https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp/insurance/lending/>

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp